

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスみかん杭瀬			
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		～	2024年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		～	2024年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月27日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに合ったプログラムの設定ができている。	また子どもたちひとりひとりが無理なく取り組めるよう、難しすぎず、達成感を味わえるようにしている。	週替わりで取り組みを変えていることが工夫のひとつであると思うが、行っていることに進歩が見られないということも心配であるため、少しずつステップアップを図って設定をしていきたい。
2	実施記録等(連絡帳)等の丁寧さ。	連絡帳やブログなどを通じて、日々の活動についてしっかりと伝えさせて頂いている。具体的に伝えることを心掛けている。	あまりにも緻密に伝えてしまうので要点が隠れてしまうことがある。また、それに伴ってスタッフの負担も大きくなってしまふ為、丁寧さを欠かず、長すぎず、明確に伝えていけるように心がける。
3	細やかなニーズに応えている。	利用者からの細やかなニーズに対して、それぞれの職員が対応を図る姿勢がある。どの様に取り組むべきか提案し、その実践も進んでいる。	一定の枠組みを越えての提供(特別扱い)とならないよう、しっかりと管理を行い、もし超える内容なのであれば、別の形で提供を再考するなどしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「共通の認識をもって子どもたちを支える」ことに難しさがあり、個人の意向でそれぞれが動いているという印象が強い。	職員間の日々のやり取りが希薄であり、それぞれの能力に応じて出来ることが非常に限られているという点があげられる。	子どもたちひとりひとりに目を配らせることができるよう、活発なディスカッションを通して共通の認識をもち、日々努めていく。
2	地域に根差した活動が執り行われていない。	近隣の施設で行われているイベントに参加するなどの取り組みは行っているが、全員に行うということが難しい。主催を担うとしても、今は体制が整っておらず、実現に至っていない。	まずは人材をはじめ、地域交流を行うにあたっての準備段階として、体制の整備が急務である。
3	個別の対応がメインである子どもに対して、十分な対応を図れているかは不安である。	個別対応を必要とする子どもに対して、例えば遊び方を考えてあげることや、絵カードや写真などを通じて優しく丁寧に説明するなど、細やかな対応を特定の職員に任せきりになってしまう点があげられる。	全体が同じように対応できるよう、ディスカッションや研修の機会を設け、強化していきたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービスみかん杭瀬		公表日	2025年2月27日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	定員に対して十分なスペースの確保ができています。	継続して行っていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4	職員配置は適切にできています。	職員の減少が予定されており、今後は人員の確保が課題となる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	5	特性に応じた環境構築を行い、意思疎通なども個々に応じて対応を変えて行っている。	強度行動障害のお子さま用の個室が必要。職員間で取り組み方を工夫していきたいと考えている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	清潔な環境を整え、生活空間を提供している。また、備品の配置など細かな調整を進めている。	継続して行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	7	相談室などの活用により、必要な際に個別での取り組みを可能としている。	全て解放されたスペースであり、個室の用意等が非常に難しい。個別環境が必要とされる場合に、療育教室の片方へ移動していただいております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	LINEを用いた連絡方法なども活用し、全員が参画できるような体制を整えている。	機会自体が少ないため、今後の活発化は行わなければならない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	アンケートから得られたニーズなどを基に取り組み方の変更を細かに行っている。	細かなことに対応ができていられると思われるが、大きな変更については体制が整っていないため、体制の整備を行ってから進めていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	個別での聞き取りや相談などを受け付けて対応を行っている。	議題としてミーティングなどに取り入れ、しっかり対応を図っていきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	現在は第三者評価を行っていない。	まだ予定がなく、少なくとも社内での取り組みとして盛り込まれればと思う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	3	4	研修計画に基づいた研修を行い、必要な場合は随時追加で行っており、講師を招いた外部研修なども取り入れている。	継続して行っていく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	毎月の予定を保護者に対して通信という形で共有を行っている。	大きな枠組みでの公表を行っているが、予定変更をせざるを得ないことがあることは否めない。プログラムの調整を検討していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	ニーズや学校・家庭でのご様子を聞き取り、分析した上で原案を作成し、保護者様に示したうえで、支援者会議で共有と検討を行っている。	継続して行っていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	支援者会議等を通して個別支援計画の策定を進めている。	問題点に対する認識や価値観が個々に違い、関心を持っていない事柄に対して発言がなかったり、理解が不足しがちになっている。職員全体のレベルアップが必要。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	職員に対する計画の周知と、計画に基づいた支援の実施を心掛けている。共有しているはずが、理解せずにいる職員に個別で話をしている。	今後の周知の仕組みや、どの様に支援を行うべきかと言う肉付けをしっかりといかねばならないと感じる。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	特に重要な事柄については記録ノートをつけており、そちらをベースに協議を行う事がある。	今後の支援においても蓄積が非常に重要なため、標準的に行えるように工夫をしたいと思う。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	「本人支援」、「家族支援」及び「地域支援・地域連携」について適切に設定を行っている。	「家族支援」及び「地域支援・地域連携」の実施自体が難航しており、今後においては実施をしっかりと計画したい。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	チームで活動プログラムを立案している。	継続して行く。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	週替わりで変化を持たせている。1つの課題内容にならない。2〜3グループ別に課題内容が違う。	継続して行くが、支援内容が適切かどうかという判定も必要になってくると思われるため、「ねらい」などをしっかり定めていくようにしたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	お子さま自身の(できた!)を大切にしています。	特に集団においては実施の難度が高いため、適宜調整を行いながら進めていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	3	支援の内容に加え、個別に対応するケースなども踏まえ、どの様に配置するかなどの確認を行っている。	共有範囲が限定されることがあるため、記録の実施を徹底すべきかと思う。打ち合わせの時間を意識し実行するのみ。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	実施記録等への記入も視野に入れ、共有や振り返りを行っている。	(打ち合わせ)という形式ばったことはありませんが、必ず口に出すようには、しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	提供記録に加え、行った課題内容についても振り返りを行っている。	継続して行く。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年に1度あるいは必要に応じてモニタリング実施を行い、計画の見直しに活用している。	継続して行く。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	4	3	地域交流に関しては難度が高く、特に主催などはできない。	地域交流に関しては、限られた日にしかできないため、今後どのような形であれば取り組めるか、ここが課題になる。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	限られたものみの提供ではなく、幅広くアイテムを揃えることで、興味・関心を育むところから行っている。	自発的な行動が多くなってきたため、継続して行く。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	児童発達支援管理責任者が招集に応じて参画している。	継続して行く。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	4	連携が表面的なものではなく、協議と言うところまで至っていないのが現状である。	相談支援との連携はとっているが、他の施設等との連携が乏しいと感じるため、今後の取り組みで出来るだけ改善を図ってきたい。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	7	0	学校へのお迎えの際にお話をする。	学校との連携が乏しいと感じるため、今後の取り組みで出来るだけ改善を図ってきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	5	新1年生などの受け入れを行った際は共有を行っている。	今年は、新1年生の受け入れ等はなかった。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	7	学校卒業後に向け、準備を進めていく。	今年は、学校卒業を迎えたお子様はいなかった。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	7	児童発達支援センターとの接点が今のところない。	今後に接点を持てるように取り組んでいきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	児童クラブや児童館との接点が今のところない。	今後に接点を持てるように取り組んでいきたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	今のところは積極的な参加はない。	参加に向けた調整を行ってきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡帳やライン等での細かなやりとりを行っている。	継続して行く。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	市の運営する研修等の紹介を行っている。	今後実施を計画したいと思うが、十分な体制が図れていないこともあり、体制の拡充が急がれる。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	改訂が行われるごとに行っている。	継続して行く。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	子ども一人ひとりのニーズや保護者の意向を大切に、定期的な面談を実施している。子どもの最善の利益を最優先に考え、個別支援計画の策定時には、子ども本人や保護者の声を反映できるよう努めている。	継続して行っていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	2	計画を2部発行し、お渡しした上で連絡をとり、説明を行っている。	継続して行っていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	電話やライン等で繋がりお話をしている。	継続して行っていくが、今後は家庭訪問も視野に入れている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	7	現在は交流会の実施等は行われていない。	機会を通じて、積極的な参加を促すことができらばと思う。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	迅速に対応するのみ。連絡不足によるミスが見られた為、二重チェックなど対策を強化している。今のところ、大きな苦情はない。	継続して行っていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	月に1度のみかん通信の発行やブログの更新で発信を行い、連絡先の更新など体制の整備に努めている。	継続して行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	目隠しやモザイク等を活用した発信の仕方などを徹底し、個人情報の利用方法について保護者に同意を得ている。	継続して行っていく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	2	視覚支援を行ったり、必要に応じて必要なコミュニケーションを図っている。LINE等を通して連絡も行い、日々の連絡帳でも情報伝達を行っている。	継続して行っていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	現在は開けた交流の運営は行っていない。	イベント等の主催は難しく、体制を整えるところが急務である。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	マニュアルに応じた訓練の実施を定期的に行っている。	継続して行っていく。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	事業継続計画に準じた訓練の実施を定期的に行っている。	継続して行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	お子さまの様子等、気になる事は直ぐに報告している。	継続して行っていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4	アセスメントでアレルギーの把握を行い、周知徹底を行っている。また、普段はLINEでも保護者から受けた情報で更新を行っている。	周知だけでは把握度が低めと感ずるため、今後は各職員へ個別に伝えるなどの対応を図りたいと思う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	4	安全計画を策定し、計画に応じたチェックシートなどを活用して確認をとっている。例えば室内に置いては、エアコンの洗浄・修理に至るまで、順次必要な措置を講じている。	参画していない職員も見られるため、全体で協力し合って行っていくように体制を整えていきたい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	5	周知について不十分なところがある。	今後の取り組み内容についても踏まえ、順次周知を図りたいと思う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット事例集を作成し、それを基に事業所で会議を行い、共有と改善の検討を行っている。	継続して行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	3	社であがった事例や議事録を元に委員会会議を行い、周知と研修を行っている。	継続して行っていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2	社の委員会へ報告し、協議の上で計画へ記載し、保護者へ説明を行うようにしている。	継続して行っていく。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童デイサービスみかん杭瀬				公表日	2025年2月27日		
						利用児童数	24	回収数	17
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	0	0	0		継続して行っていく。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	0	0	1		継続して行っていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	0	0	1		継続して行っていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	0		継続して行っていく。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	1	OTの介入があったらいいと思う。	保育所等訪問支援及びOT等との連携も図っていく。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	1		継続して行っていく。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	15	1	0	1		継続して行っていく。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1	0	1		継続して行っていく。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1	0	0		継続して行っていく。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	2	0	0	制作など決まった課題でも内容を工夫されている。公園以外の外出が少ないがお出かけやワークショップなどがあれば善みます。子どもに合った様々なプログラムがあり、満足している。	継続して行っていく。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	2	8	この質問内容自体に無理がある。機会を作ることは難しい。特に求めているないので、なくても良いと思う。	地域との交流を策定することが難しいということがあるが、機会を見つけて実施してみたいと思う。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		継続して行っていく。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		継続して行っていく。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	4	4	ペアトレの件、ご提案頂きありがとうございます。	実施に力を入れ、研修等の機会の作出具も図っていきたい。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15	0	0	2	LINEにて出来ており、他スタッフにも共有して頂いている。私がイベントに参加していないのでわからないです。	継続して行っていく。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	0	0	0		継続して行っていく。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0	子どもに寄り添ってくれていると感じる。	継続して行っていく。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4	5	7	父母の会とか活動や交流とかあったら子どもたちの成長を共に共感しあえると思いました。デイにこのような機会を作ることと担わせる事は難しい。この質問内容、毎回違和感感じます。	機会の作出が難しいところではあるが、今後に予定を立てることは常に視野に入っている。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	3		継続して行っていく。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0		継続して行っていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	0	0	0	連絡帳、ブログ、とても丁寧です。	継続して行っていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1	0	0		継続して行っていく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	0	1		継続して行っていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	0	1		継続して行っていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	1		継続して行っていく。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	2		継続して行っていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	1	サードプレイスとして大切な場所になっています。	継続して行っていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	0	0	いつもありがとうございます！	継続して行っていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1	0	0		継続して行っていく。